

2018年10月 集計

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分から ない	ご意見	改善策
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2					ゆいまある るんだ・るんだ 交流棟のプレイルーム 屋外を活用し、子どもの発達に合わせた活動を行っています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	2					お子さん1名に職員が1~2名で過ごしております。
	③ 生活空間は、本人に分かりやすい構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事務所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	2					建物の建築時、スロープ等、バリアフリーに対応した建物を準備しました。子どもの安全に十分に気を配り活動をするようにしております。冬季は、除雪をこまめに行い安全に注意しています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	2					屋内、屋外共に清潔を心がけると共に安全にも注意しています。
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、発達支援計画が作成されているか	2					子どもの事を理解する事に努め、職員間でも共有するように努めております。お子さん、ご家族の状況に合わせ計画を立案、実施できるよう努めてまいります。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目は適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。			1		1	私たちが不十分に感じている点です。お子さんを育てる上で困っている事があれば相談してください。一緒に考えたり、研修会等も企画いたします。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	2					常に職員で計画を共有し、振り返り、見直ししながら取り組みを考えております。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	1	1				お子さんの発達をよく観察し、無理のない形で新しい活動に取り組んでいく事をしています。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。			1	1		現在の所、この機会を準備できておりません。個別での療育を基本とし、保育所等へは、お子さんが他のお友達と仲良く過ごせるようなお手伝いをさせて頂いています。
保護者 への 説明 等	⑩ 運営規模、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	2					
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」にのらひ及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援の内容の説明がなされたか。	1				1	面談の機会、利用後の引継ぎの際、お話や文章を通じて、支援内容をご家庭に伝える事をしていきたいと思ひます。
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)は行われているか。				1	1	次年度より実施予定です。ぜひ参加いただければと思ひます。
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	2					
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2					
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか				2		現在父母会、保護者会は設けておりません。しかし、保護者さんが安心できるような繋がりは作っていきたくと思ひています。
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際にあった場合迅速かつ適切に対応しているか	2					
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2					今後も子ども達が安心、安全の基、活動を楽しみに出来るように心がけていきます。
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか					2	自己評価の結果につきましては、ご家庭にお渡しすると共にホームページ等外部にも好評いたします。
⑲ 個人情報に十分注意しているか	2					個人情報、同意いただいている連携の中で共有しております。また「〇〇さんで留めてほしい」という事があれば、その範囲で情報は留めます。	
非常時 等の 対応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が行われているか。					2	火事、地震、感染症についての対応は整備されておりますが、防犯に対するマニュアルは2019年度に早急に整えます。
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか					2	2019年度は、4度(季節ごと)避難訓練を実施します。行事になると情緒が不安定になったり、避難訓練後に情緒を大きく崩すお子さんもいますので、保護者の方と相談の上行います。
満足 度	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	2					
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	2					

	チェック項目	はい	いいえ	ご意見	意見・方針
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	3			
	② 職員の配置数は適切であるか。	3			・職員配置を守っています。 ・子ども一人につき、職員2人で個別療育を行っています。
	③ 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事務所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	3			
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	3			
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3			
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の強化を実施するとともに、保護者等の意見等を把握し業務改善につなげているか。	1	2		公開します。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともにその結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。		3		公開します。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3		・コンサルテーション等利用し、自分たちの事業を客観視し助言をもらうことをしていきたいと思えます。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	3			
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3			
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。		3		現在、アセスメントツールを模索しながら作成しています。お子さんの共通の理解と支援につながるようなものを準備したいと考えています。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目は適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		3		私たちが不十分に感じている点です。お子さんを育てる上で困っている事があれば相談してください。一緒に考えたり、研修会等も企画します。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	3			
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3			
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3			・毎回、その日のプログラムを計画し、振り返り、次のプログラムを計画しています。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3			・個別の療育を行っています。メンバー等みながら活動を組み合わせています。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	3			
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3			
	⑲ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3			
⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	3				
関係機	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	3			
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	3			
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育などの関係機関と連携した支援を行っているか。				・医療的ケアが必要な子どもを現在うけいれていない。地域の保健機関と連携し、今後対応を考えていきます。

関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。				
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2			
	②⑥	移行支援について、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	2		現在、保育所、幼稚園に移行しております。丁寧に移行に関わります。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。			3	今後連携の場を作っていきたいと思います。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。			3	現在の所、この機会を準備できておりません。個別での療育を基本とし、保育所等へは、お子さんが他のお友達と仲良くすごせるようなお手伝いをさせて頂いています。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3			
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	③⑪	保護者の対抗力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。			3	次年度より実施します。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援の内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3			
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。			3	現在父母会、保護者会は設けておりません。しかし、保護者さんが安心できるような繋がりを作っていきたいと考えています。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。			3	個別療育を基本としているため、ご家庭にはその都度、活動を伝えるようにしています。
	③⑱	個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	3			
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意見の疎通や情報伝達のための配置をしているか。	3			
非 常 時 等 の 対 応	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか。	3			るんだるんだ祭りを年1回行っていきます。
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			3	火事、地震、感染症についての対応は整備されておりますが、防犯に対してのマニュアルは2019年度に早急に整えます。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に遭難、救出その他必要な訓練を行っているか。			3	2019年度は、4度(季節ごと)遭難訓練を実施します。行事になると情緒が不安定になったり、遭難訓練後に情緒を大きく崩すお子さんもいますので、保護者の方と相談の上行います。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3			
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				現在、9時～12時の利用時間のため食事を提供することはありませんが、アレルギーがある場合は、医師の指示を受け、対応します。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	3			
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応しているか。	3			
④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。			3	現在身体拘束を行っていませんが、もし行う際はルールを決め、保護者の方にも十分に説明させて頂きたいと思います。	